

我孫子市市議会議員

水野ゆうき

ゆう
CanChange!
議会報告 vol.5

水野ゆうきは市政・
議会・議員の見える化を
推奨しています



ブログ <http://ameblo.jp/yuukimizuno/> Facebook 水野友貴 Twitter @yuukitten

二元代表制:行政と議会は緊張関係を!

■ 地方議会の二元代表制は市民・市長・議会で認識共有を!

地方議会は国会の議院内閣制とは異なり、二元代表制です。議会は市長以下執行部、職員とは緊張関係を保ちながら市政運営をし、議会は行政を監視することが大きな役割の一つ。本来この制度では議会の中で与党や野党に分かれることはありません。市長に二元代表制に対する見解を確認。首長と議員の関係性を対立・擁護という構造にするのではなく、あくまでも市民のために一人一人の議員が是々非々で行動することが重要であると水野ゆうきは考えています。議会の中でも会派や期数(当選回数)等によって行政による議員への情報提供の内容や早さに差が生じることはあってはなりません。もしそういったことがあれば投票した市民をも差別をすることになります。議員への情報提供は平等であることを確認。そして二元代表制の意味、市民・議会・行政の関係を全職員に徹底するよう要望。また行政職は、これらの観点から公務員という立場上、適切なSNSの活用をしなくてはなりません。



■ 女性の社会参画推進、起業・創業支援 多様性を活かした社会に!

我孫子市

管理職204名中 女性管理職数 26名(12.7%) ※平成24年度現在

平成13年 千葉県で唯一の
「男女共同参画都市」宣言

平成18年 我孫子市男女共同参画条例を制定

男女格差報告2012
日本 101位 / 135か国中
※先進国で最下位

多様性により生み出される価値を組織全体で共有し、多様な担い手が連携しながら、地域全体でダイバーシティ※を推し進めることが求められています。

※ダイバーシティ:直訳すると多様性。性別、年齢、国籍、障がいの有無などに問わず多様な人材を戦略的に活かす民間で普及している概念。

福利厚生としてではなく、職場内に意識を浸透させ、ライフステージに応じて働き方を転換できたり、柔軟な働き方を選択したことがキャリアの妨げにならないようにすることも環境整備として必要。また男性職員の育児休暇取得がゼロということからも男性の意識改革を!

現在、我孫子市では空き店舗の利用促進、まちの賑わいづくりのため、指定区域内の空き店舗に出店する方、企業に家賃の一部を2年間補助する空き店舗活用補助金制度や、我孫子市インターネットショッピングモール出店補助金制度を実施。地域の商業活性化に繋がることから若者から年配まで起業しやすい環境に。利便性・種類等を重視するチェーン店と地域の特性・地産地消を活かした商店の両方の視点で考え、行政が新規事業の創出、育成をしながら支援をしていくことが重要。以下を提案し、市長から前向きな答弁をいただきました。

水野ゆうきの一般質問要項

大綱1 市民・議会・行政の関係

- (1) 二元代表制に対する市長の見解
- (2) 情報提供のあり方
 - ア.市民に対する行政の情報提供のあり方
 - イ.議会に対する行政の情報提供のあり方
- (3) 行政のSNS活用法
 - ア.職員のSNS活用に関する認識と状況
 - イ.市民・議会向けの庁内におけるSNSガイドライン策定
 - ウ.職員のネット研修(提案)

大綱2 ダイバーシティ社会における キャリアサポート

- (1) ダイバーシティと女性の社会参画の推進
 - ア.ダイバーシティ推進
 - イ.市職員の女性管理職状況に対する見解
 - ウ.女性が管理職を目指す職場環境整備状況
 - エ.男性職員の理解と啓発
 - オ.ワークライフバランス、キャリアサポートから見た対策と支援
- (2) 市内における起業・創業支援
 - ア.現在の支援制度
 - イ.市としての新たな取り組みと支援制度(提案)

大綱3 シティプロモーション

- (1) 現在のシティプロモーションにおける課題
- (2) 今後の具体的対策と取り組み
- (3) 市民・メディアへのアプローチ法(提案)

水野ゆうきの提案

- ①資金融資等公的支援制度を市単独で導入(要事業計画提出及びプレゼン)。
- ②お店、会社など新たな事業活動を開始する際は準備が必要。お店であればショーケースや内装、会社であれば机や椅子、名刺、ホームページ作成等。そういった市内業者があれば市が情報を提供する、といったサポート等。